

ウィズ&アフターコロナの「みんなの場所」

— 日本とイタリアの公共図書館 —

Places of and for People with and after COVID-19
- Public Library in Japan and Italy -

新型コロナウイルスの世界的感染拡大の中で、市民や地域住民に開かれ、また寄り添う「みんなの場所」も危機に瀕しています。しかし、このような時にこそ、「みんなの場所」の価値が再認識されているのではないのでしょうか。そして、「みんなの場所」の理念と現場での取り組みは今後、どこへ向かうのでしょうか。今回は日伊の公共図書館に注目して、従来の図書館サービスに留まらないコミュニティベースの取り組みを進める最前線の方々と語り合います。

開催日時・方法

2020年①12月15日(火)②12月22日(火)
(いずれも18時~21時頃まで)
オンライン (Zoom) で開催。参加無料。
参加希望の方は下記サイトからお申し込みください。
申し込み後に Zoom の URL 等をお伝えします。

① 12月15日(火) 18時から

『公共図書館の今とこれから』

- ・アントネッラ・アンニョリ (イタリア図書館コンサルタント)
- ・吉成信夫 (みんなの森ぎふメディアコスモス総合プロデューサー)
- ・平賀研也 (前県立長野図書館長・元伊那市立伊那図書館長)
- ・小松尚、小篠隆生、多木陽介、他
- ・林匡宏 (commons fun 代表: ライブ・レコーディング)

【申し込みサイト・QRコード】

<https://forms.gle/4TEywwSAzg3jgUZm8>



② 12月22日(火) 18時から

『事例が語る公共図書館の挑戦』

- ・アントネッラ・アンニョリ (同上)
- ・原田祐馬 (デザイナー、UMA/design farm 代表)
- ・多田智美 (編集者、MUESUM 代表)
- ・小松尚、小篠隆生、多木陽介、他
- ・林匡宏 (commons fun 代表: ライブ・レコーディング)

【申し込みサイト・QRコード】

<https://forms.gle/RFAPCruCRXnjQBGs7>



問い合わせ先 + 関連図書

ウィズ&アフターコロナの「みんなの場所」事務局
hknagoyan@gmail.com

小篠隆生・小松尚

『「地区の家」と「屋根のある広場」 イタリア発・公共建築の
つくりかた』 鹿島出版会 (2018)

主催 (Organizers)

小松 尚 (Hisashi KOMATSU : 名古屋大学)

小篠隆生 (Takao OZASA : 北海道大学)

多木陽介 (Yosuke TAKI : 演出家、アーティスト、批評家)

後援 (Supporters)

名古屋大学大学院環境学研究科

附属持続的共発展教育研究センター

(SusCode, Nagoya University, Japan)



写真 上: ぎふメディアコスモス (岐阜県岐阜市)

下: サラボルサ図書館 (イタリア・ボローニャ市)

付記 本企画は JSPS 科学研究費補助金 19K04751 を得て
実施されます。